

### ① 理想・目指す姿

- ・子どもから高齢者まで、誰一人取り残さず、一人一人の幸せ、ウェルビーイングの実現を目指す施設（D、E、F、G 委員）

### ② 施設本来の役割

- ・求められる役割の変わっていく中で、持続可能な人・まちづくりの拠点として活用を考えるべき（A、O 委員）
- ・そのためには、設置目的やこれまで果たしてきた役割などを整理したい（E 委員）

★各施設（特に公民館・図書館）の法令上の役割や現在果たしている役割などについて、第2回会議において、各10分程度の学習・確認機会を設ける。

公民館について：北海道教育委員会社会教育主事から

図書館について：北海道立図書館司書から

### ③ 施設の現状

- ・障害のない者には見えていないことがある（D 委員）
- ・施設によっては管理体制や交流機会の有無などにより情報が得にくい環境にある（K 委員）

★自治体における施設の現状を把握するため、事務局で抽出した施設を委員が視察し、施設が置かれている状況や抱えている課題などを調査し、第2回会議において報告する。

【視察施設】**恵庭市島松公民館**：ネット上でのワクチン接種予約を支援するなど、命を守るデジタルディバイドの解消に寄与している。

**帯広市図書館**：ビジネス支援、医療健康支援、学校教育支援、障がい者サービスなどをいち早く取り入れている

### ④ 施設に求められる新たな役割

- ・地域全体が学びの場であり、その中核としての場所と位置付ける（A 委員）
- ・子どもから高齢者の利用や家庭教育支援など、市民のニーズにハイフレックスに応える（A、D、J、N 委員）

★今後の会議の中で必要と思われる情報を得るための事例紹介及び学習機会を設け、委員による議論の展開の広がりを促進する。

### ⑤ 職員に必要な資質・能力

- ・バリアフリーは、設備の整備よりも、対応する人や体制があることを発信できることだと理解（L 委員）
- ・困りごとを抱える方のため、施設外のカや知恵も巻き込み、目の前の一つ一つのことに取り組むことが大事（E 委員）

★今後、次回以降の会議において議論を進め整理する。

### ⑥ 道教委の役割

- ・まずは人づくりが大事。施設職員をどのように育てていくのか（N、O 委員）
- ・自治体にとってアイデア、知見を提供するための事例集（N、E 委員）

★今期「議論のまとめ」の最後は、道教委にどのようなことを求めるかで閉じる。